

令和４年度 射水市男女共同参画審議会	
日 時	令和５年２月１７日（金） 午後１時３０分から午後３時まで
場 所	射水市役所 ３０１会議室
出 席 者	委 員：阿尾委員、朝倉委員、金田委員、砂原委員、谷口委員、辻井委員 【会長】、堀委員、堀川委員、眞岸委員、松尾委員、山崎（京）委員 【副会長】、山崎（良）委員、山本委員、米田委員 （５０音順） 事務局：市民生活部長、市民生活部次長、市民活躍・文化課長、 市民活躍・文化課長補佐兼市民活躍推進係長、同係主事
欠 席 者	なし
会議形態	公 開
会議次第	１ 開会 ２ 挨拶 ３ 交代委員及び職員の紹介 ４ 議事 （１） 令和３年度男女共同参画の推進に関する年次報告について （２） 令和４年度事業について ５ その他 ６ 閉会
内 容	(1) 令和３年度男女共同参画の推進に関する年次報告について <u>主な質疑・意見</u> 委 員：市議会の女性議員がいない状況について、今後計画に盛り込む等 はあるのか。 市 ：男女共同参画を推進していく上では、政治の分野においても女性 の参画を推進していかなければならない。市としても、参画しや すい環境づくりに向けて進めていかなければならないと考えて いる。 委 員：行政委員会の女性委員数について、農業関係など従来から昔の風 習が残っている分野が、女性の登用が遅れていると思った。行政 が中心となるので、もう少し女性を登用できないか。 市 ：農業委員会については、女性が少ない状況にあり、農業に従事し ている女性の割合が低いといったことが背景にある。これまで も、女性が就業しやすい環境づくりを進めているが、まだまだ環 境が整っていないところがある。 委 員：農業委員会などでは、長期にわたり委員に就任されている場合も ある。少しずつ改革しないと女性活躍の場が難しいと思う。どの 委員会にしても、女性の意見を取り入れるべきで、時代に則した ものになってほしい。 委 員：自治会・町内会の改革もしていかなければならない。 市 ：自治会・町内会長の女性の割合が非常に低いといった現状であ る。市でも女性活躍に力を入れて取り組んでいるところではあ るが、地域の中において、女性が参画しやすい環境を整えていく にはどうすればいいか、重点的に考え今後の施策にも反映して いきたい。 委 員：指標・目標一覧について、「男女の地位の平等感」は、男女によ

って差が出てくるはずである。男女別の数値を取っているのであれば、それを記載すべきであり、課題を明確にするために、どこに問題があるか把握しないと施策を進めることは難しいと思う。

市：おっしゃるとおり男性と女性の数値は大きく違っており、その数値を示すことは重要であるため、今後反映していきたい。

(2) 令和4年度事業について

主な質疑・意見

委員：子どもの頃からアンコンシャスバイアスを周知から植え付けられていることがあると思うが、子ども達の潜在意識への働きかけはどのようなことをされているのか。

市：小中学生に向けては、人権啓発活動の中で行ってきたところである。近年、人権課題も多様化しており、新たな啓発方法も考えていかなければならないと考えている。

委員：今後、性同一性障害などの子どもが入学してきた際に、いじめが起きないように、どのように対応するか小学校も考えていかなければならない。

委員：テレビの特集で、生まれたときは男性だったが、内面は女性の方が取り上げられていた。都会はそういう人が多いため暮らしやすいとのことだったが、今後、富山県はどうするか、射水市はどうするか考えたときに、小さい頃からの教育が大切だと思う。いつかはなるだろうではなく、どのように周知徹底するかが重要で、みなさんが少しずつ協力していく必要がある。

委員：現在、学校としては、そのような悩みを抱えている子については深く取り扱えていない。今後、啓発教育を行い、それぞれ個性があることを伝えていくことになると思う。

委員：総合計画の委員に携わっていたが、性的マイノリティよりも多国籍の子どもについての話が多く、性的マイノリティの話が出てこなかったことを考えると、射水市ではまだそのことに重きを置いていない印象があった。

委員：来年度の報告書では、実績の横に、残された課題、新たな課題、その課題を解決するための取組内容を資料に載せてほしい。射水市でも様々な計画があると思うが、それぞれの計画を個々で実施していくのではなく、他の課と連携し、全庁として男女共同参画に取り組んでほしい。

市：全庁的に様々な事業を行うにあたって、男女共同参画の視点を欠かさずに施策に盛り込んでいくことは重要であり、市役所内全体に共有していきたいと思う。また、来年度の報告書をどのような形にするかは検討していきたい。

委員：コロナの影響でIT化が進んでおり、会議や講演会なども対面だけでなくリモートでも参加している状況である。そういったものを他の部署と連携してIT化を進め、情報発信していけば、計画の達成率も上がると思う。情報発信の仕方を今後検討していきたい。

市：いみずキャリアステップ応援塾では、参加企業の方にも見てもらえるよう、オンラインで配信させていただいた。働く女性が活躍できる土壌を作るといった意味でも、広く配信していきたいと考

	える。 委員：1年後には、女性支援新法が施行されると思う。相談員の方が、正規職員ではなく、嘱託のような不安定な雇用の仕方が問題になっている。男女共同参画を進め、人権を守るためにも、女性相談員が正規で働けばいいと思う。 市：市で行っている女性相談の中には、DVの相談も多くあり、職員だけの対応は難しく、民間の相談員に委託しているところである。民間の中には、積極的に受け皿となっているところもあるので、民間とも連携しながら、対応していきたいと思う。 委員：いみずキャリアステップ応援塾を開催して、得られた効果を教えていただきたい。 市：受講者アンケートでは、受講してよかったという声が非常に多くあった。それぞれの仕事の中で、悩みを抱え、その悩みの共有が図られたことで、課題解決のきっかけになったといった声が多くあった。スキルアップだけでなく、女性のネットワークや、これからのキャリアを考えていく上でのきっかけづくりになったことは、この事業の効果があったと考えている。 委員：女性のためのキャリアアップ応援補助金の令和4年度の実績を教えてください。 市：現在、5件の申請を見込んでおり、年度末にかけて、さらに申請があるものと思う。
--	---

概要版